

主なご質問

参加者の皆さんから頂いた「コミュニケーションカード」を基に意見や質問が交換されました。
食中毒と感染症に関する主なやりとりは以下のとおりです。

参加者からの質問や意見

プリオンは微生物と言って良いのでしょうか？

スピーカー(見上委員長代理)のコメント

プリオンは、タンパク質が感染することなので、そういう意味では微生物ではないかもしれない。

BSE、トリインフルエンザのウイルスは、人間には感染しないということですか？

BSEは、人間に感染します。変異型クロイツフェルトヤコブ病になった方は、今まで200人以上います。
トリインフルエンザの場合は、濃厚に接触しない限り人には直接感染しません。それはトリとヒトでは、細胞のレセプター(受容体)が異なるからです。ただしウイルス自身に変異するなどして、ヒトのレセプターに入り込めるようなものが出てきた場合は直接感染を起こします。

ペットを介しての感染症が増えていると聞きます。委員自身が一番怖いと思うペット由来の感染症は何ですか？

狂犬病が一番怖いですが、日本には昭和32年以降発生はありません。もし狂犬病流行地である外国を旅行中、犬に噛まれたら、大使館ですぐ狂犬病のワクチンを打ってください。それで相当ヒトが救われています。

人獣共通感染症は永遠に続くと考えても良いのでしょうか？

その通りです。永遠の課題です。人獣共通感染症の中で野生動物に病原体が入り込んだものは抑え込むのが難しいです。

狂犬病の終末宿主のところがよくわかりませんでした。終末宿主の定義は？

狂犬病は、ありとあらゆる脊椎動物に感染し、狂犬病の犬に噛みつかれた動物は必ず死にますが、その動物から同じ種類の動物には広がりません。それを終末宿主と言います。ただし、犬とかキツネは違います。イヌ科の動物は時として同じ種類の動物の中で広がる場合があります。

参加者からの質問や意見

破傷風が芽胞として長期生存するという話があったが、一般的に病原体の寿命というのはどれくらいなのか？

ヒトの眼で免疫機能が及ばない部位があるとのことだが、もう少し詳しく教えて欲しい。

ノロウイルスは85℃1分で死滅すると言われますが、そこまで加熱したらカキは身が縮みおおいそうに見えませんか。その落としどころはどうしたらよいのでしょうか。

不顕性のヒトが時おり存在するが、その原因は？

変異が繰り返されるウイルス性食中毒感染症に対処するため、現代の医療技術の潮流などをお聞かせください。

スピーカー(見上委員長代理)のコメント

細菌というのは、栄養分があるうちは分裂を続けて、2分裂で増えて、最終的に目で見えるようなコロニーを作って 栄養分がなくなると菌は普通は死にます。ところが芽胞を作る菌は、芽胞の中にこもってしまう。芽胞を作ってしまうと10年、20年は生存します。

眼は生命活動に欠かせないものであり、眼の機能を維持するために特殊な免疫機能を持っています。これは、眼に侵入した病原体に対する免疫反応を抑制し、炎症を抑えて眼の機能を保護するものです。(食品安全委員会事務局回答)

最近、カキを原因とするノロウイルスは減少しているという情報があります。生産段階でも対策を進めています。本当に怖いのは、生カキよりも感染症としてのノロウイルスです。

ヒトには生体防御機構にさらされないような場所があります。この場所の1つが胆のうで、ここに菌が入ると抗生物質が効かないため、どうしても治したかったら手術で胆のうを除去するしかありません。1900年代初頭に「チフスのメアリー」と呼ばれる不顕性感染女性があり、その女性がいるレストランに行ったら必ず腸チフスになるという有名な話もありました。

食品媒介感染症では、変異が繰り返される病原体は見あたらない。インフルエンザなど、変異をしながら生体の防御機構から逃れるものと食中毒菌は少し違うと思います。ノロウイルスも変異はしていないと思います。ノロウイルスは小さいウイルスですから変異をするだけの遺伝子情報を持っていないと思います。最近問題になっている耐性菌については、菌が変異するというよりも、いろんな耐性遺伝子が持ち込まれることによるものです。

参加者からの質問や意見

カンピロバクターの保菌率は鶏に多く、そのほとんどがジェジュニで、豚ではコリが多いとなっていますが、なぜ？

先日、鶏肉にフォークで穴を開けて焼くと中まで火が早く通るという情報をテレビで見たが、鶏肉の表面には多くの菌が付着しているがどうでしょうか。また、鶏肉は他の肉と違って調理前に水で洗った方が良いでしょうか。

口蹄疫ワクチンを投与した牛や豚肉を流通させない理由は？

実験現場やワクチンを除き、乳酸菌のように人体に侵入することでプラスになるウイルスは存在するのですか。

種の壁を越えそうか、越えなさそうかを実験せずに推定する方法はあるでしょうか？

スピーカー(見上委員長代理)のコメント

しばしば動物の種類によって、菌種が違う傾向はあります。それは宿主に住み着いた菌がそこで優勢を占めたという風に考えた方が良いでしょうと思います。

フォークで穴を開けるというのは、塩こしょうを中に入れるためだと思います。フォークで肉に穴を開けることは、バーベキューでよくやる行為です。いずれにしても生で食べなければ問題ないと思います。鶏肉の水洗いは、どちらでもかまいませんが、十分な加熱調理をする必要があります。

今回口蹄疫のワクチンを使った目的は、口蹄疫の感染を防ぐのではなくて、感染を広げないという目的があった。ワクチンで生かしてしまうと感染源になる可能性がある。口蹄疫のワクチンは感染するのを弱める目的で使用するため、ウイルスを淘汰することはできません。理想的にはワクチンが病気を完全に宿主動物から駆逐できるのならワクチンがかなり有効な手段となりますが、ワクチンを接種した動物と自然感染した動物を区別できないようなワクチンでは結局のところ病気を広めてしまう。国際的には口蹄疫ワクチンを使用した畜産物の輸入はしないのが普通です。

そういうウイルスもあるかと思います。

遺伝子治療において、特定の遺伝子を細胞内に導入する際にウイルスを使うことが研究されています。(食品安全委員会事務局回答)

実験動物を使わないで推測するというのは、疫学的調査を行うことで多くのデータを集めてくれば可能だと思います。